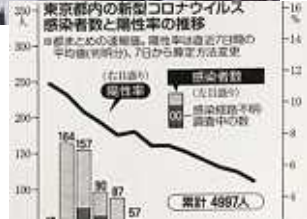


# 新型コロナ ウィルス対策

# 新型コロナ…区のあたらしい支援策 PCR検査、医療 福祉、産業支援など



荒川区は、5月1日の区議会に新型コロナ対策の補正予算を提出、全会一致で可決されました。新たな新型コロナ対策についてお知らせします。

**医療現場への支援（8億円）**  
飛沫パネル、HEPAフィルター付クリーンパーテーション、一般患者と区別する動線確保など整備（1億5千万円）  
防護服、マスク、フェイスガード、消毒液など物資配布（福祉部門と合わせて5千万円）  
新型コロナ対応の医療従事者に特別手当支給・一人5千円、宿泊費補助、深夜帰宅交通費補助など（3億8千万円）

医師会の協力でドライブスルー、ウォークスルーも可能な区独自のPCRセンター開設（1億円）  
その他、感染症医療費助成、自宅療養へ

# 横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告  
ニュース

764

2020年5月24日  
発行 日本共産党区議会  
3802-4627  
fax 3806-9246  
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメールアドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など…横山幸次区議  
のホームページをご覧ください。

## 児童手当、育成手当受給世帯に 子ども一人・1万円のクオカード支給

区は、児童手当支給世帯と児童育成手当支給世帯に児童一人当たり1万円のクオカードを給付すると発表しました。なお児童手当と児童育成手当の両方とも対象の世帯の場合は、一人当たり2万円分のクオカード送ることを決定しました。クオカードだとコンビニ、ドラッグストアなど利用が限られますが、少しでも暮らし応援にはなります。



やはり、現金での支給の道はなかったのでしょうか。児童手当などの給付に合わせて上乘せする方法もあったのではないのでしょうか。

## 家庭学習支援にタブレットなど貸し出し

家庭での学習支援のため、WiFi環境やパソコン、タブレットがない家庭に支援を行います。具体的には、モバイルWiFiルーターとタブレットを貸し出しています。学校に問い合わせください。



**福祉事業所への財政支援**  
通所、訪問事業所 限度額20万円、入所施設 入所者一人当たり1万円、居宅介護事業所・特定相談支援事業所 従業者一人当たり限度額2万円、濃厚接触者等へのサービス提供 職員一人当たり月額1万円  
医療関係と同様の環境整備・限度額500万円/10補助  
陽性者発生の場合の施設消毒委託の場合、限度額200万円  
この予算額は検討中

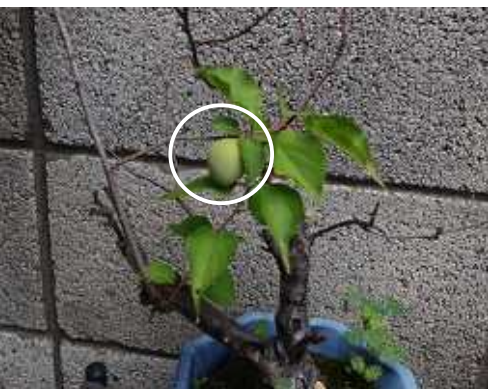
## 定額給付金（30万円）の特例申請は 5月22日で終了となりました…

10万円の定額給付金でお急ぎの方について区役所、区民事務所で申請書配布（ホームページのダウンロード）する特例を行ってきました。しかし申請数が多くなりすぎ、22日金曜日で終了になりました。28日以降郵送される申請書（世帯員記入済み）で申請してください。



**春から初夏、我が家の鉢植えの梅に実がなったのです…**

コロナ禍の中、季節は足早に移っています。ところで、我が家の鉢植えの梅になんと実がなったのです（白・内）。もらった白梅ですがもう何年になるでしょうか。少し衰えてきたようですが、毎年なんとか花をつけていました。来年はどうなるかと思っていた矢先の梅の実です。実がなると花が少なくなるとも聞きます。しかし種の保存の法則が、自然界では、したたかに貫徹しているのです。



余談ですが、都電沿線のバラも今が盛りです。花をつけ実をつけ、種を繋いでいくことが自然の根源的営みです。しかし人間は、自然を破壊し、気候変動を引き起こし、あらゆる生物の命の繋がりを絶つとしていきます。私達の社会や経済活動のあり方、暮らし・生き方が問われています。（横山幸次）

お困りごとなど、電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談ください。  
裏面に暮らしに役立つ制度紹介など

お気軽にご相談ください  
定例法律相談会

6月1日(月)  
横山事務所18時~20時

生活相談は、随時受け付け  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ 後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

# 三中(汐入)に特別支援学級を設置 中学で特別支援教室(巡回)が開始



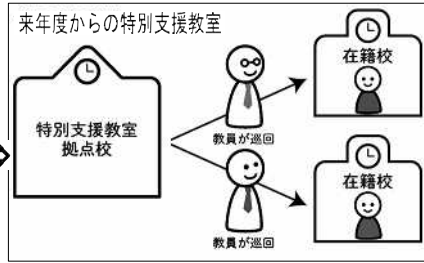
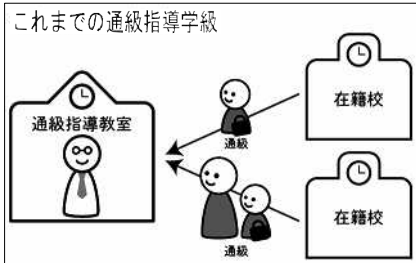
上が九中、  
下が三中

中学校 特別支援教室の体制	
拠点校	巡回校
九中	一中、三中、四中、五中、七中、 原中、尾久八幡中、諏訪台中

どの子にも豊かな学び支援と環境整備を  
特別支援教室の拠点校は1校で大丈夫？

荒川区は、来年度から南千住区にある三中に設置することが決まりました。

これまで中学校で知的障害を持つ子どもたちが通う特別支援学級は、第一中学校、第四中学校、尾久八幡中学校の三校でした。これまで汐入地域などから一中の特別支援学級まで通っていた子どもや親にとって移動は大変でした。以前から強い要望もあって来年度から汐入地



特別支援教室の拠点校は1校で大丈夫？

一方、特別支援教室(下田み参考)は、小学校で二年前から設置されてきました。中学校は、これまで通級学級が設置されている学校まで通うことが必要でした。今回、小学校に続き、中学校でも各学校に特別支援教室が設けられ拠点校から先生が巡回して個別指導に当たることとなります。しかし、拠点校は九中だけです。この体制で出発しますが、今後、区内の東西にそれぞれ拠点校を配置するなどきめ細かい指導も展望すべきです。

## 新型コロナ対策で直営ひろば館が地域巡回、相談、コンテンツ提供...

荒川区には、区直営のひろば館が3館(熊野前、西日暮里、花の木)残っています。新型コロナ感染の中、この3館では、子どもや保護者支援のため職員(指導員)が地域を回って声をかけたり、伝言板を設置する活動を行っています。また専門性を生かして工作やゲームを楽しめるコンテンツの提供など行っています。かつて区内全地域に公設公営の児童館がありましたが、今は、ふれあい館になり民間が運営。今後、ふれあい館でも同様の事業を行うように働きかけるようです。

やはり全地域に公設公営の児童館を配置していくことの重要性も示されたと思います。



特別支援教室とは

情緒障害や発達障害などのある子どもたちを中心に、教育の場でサポートを提供しようとする制度です。普段は通常学級に在籍して授業を受け、必要に応じて別の教室で、ニーズに合わせて個別指導や小集団指導を受けます。すでに区内小学校では、4つの拠点校の発達障害教育担当の教員が、グループ内の各小学校を教員2〜3人一組で各小学校を巡回して指導を行い、課題に沿った授業を在籍校で行っています。巡回指導は原則週に1回、2時間です。学級担任とも連携し、子どもの様子を把握し在籍学級での授業内容の工夫もすすめています。来年度から中学校でも、同じ体制と時間配分で子どもたちへの個別指導に当たります。



## 今週のデータ 実質GDP成長率マイナス3.4% 消費税増税直後の下げ幅はコロナ禍の2倍

今年1〜3月の実質GDP(国内総生産)成長率が年率換算でマイナス3.4%です。政府は、コロナ禍で「旅行や外食など個人消費」が大きく落ち込んだほか世界的な経済停滞で輸出が大幅に減少」としています。しかし、景気動向をよく見ると、消費税増税による昨年10〜12月のマイナス幅がコロナ禍より2倍です。コロナ禍以前に消費税増税で大きな打撃を受けています。改めて消費税増税の酷さが分かる結果となっています。



## 今後の小中学校行事について(中止、変更など)

### (1) 変更になる学校行事

春季運動会は、秋に変更 中学修学旅行は、時期、行先、移動手段など変更等の検討 移動教室 清里5月18日〜、下田20日〜 小学は時期と実施方法の変更で実施する方向、中学は、中止する

### (2) 中止する学校行事

小学 下田臨海学園 7/21〜8/22 オリンピック、パラリンピック観戦 小中のワールドスクール 尾久西、尾久小の他都市交流(8月) 中学連合体育大会9月、小学連合運動会10月 特別支援学級合同遠足(10月) 小中オーケストラ鑑賞教室10月 合唱鑑賞会12月

幼稚園、小中学校の体育水泳、夏休みプールは1学期中に健康診断ができないため中止

### (3) 予定通り実施する学校行事

小学連合英語発表会 小中図画工作展/連合展示会(1月)

来年の友好都市交流は検討中

